

交付金検証資料

計画 1	内なる文化(地域資源)を磨き輝かせるプロジェクト	総事業費 (内交付金)	42百万円 (25百万円)
---------	---------------------------------	------------------------	--------------------------



【漁業体験モニターツアー】

本市は、中核市として都市機能が集積している一方、豊かな里山・里海と風光明媚な景観が特長である。また、市花「ばら」を通じて、市民との協働のまちづくりを進めている。こうした「豊かな里山・里海」や「ばら」といった、福山が保有する地域資源・魅力を発信することで、福山への愛着と誇りを高め、「都市の魅力発信」、「ふるさとづくり」の取組を推進する。

1 主な実施内容	
<p>○ばらのフレグランス開発事業（総事業費38百万円） 福山観光コンベンション協会が資生堂とともに、ばらにちなんだ商品（オードパルファム（香水）、ハンドクリーム等）を開発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌等への商品記事の掲載や、商品広告の新聞折込（福山、府中、尾道等）を実施した。 ・東京でのPRブース設置（2～3月）、イベント出展（2月/来場者1,300人）等を通じて、首都圏においてばらフレグランスやばらのまち福山のPRを行った。 ・商品発表会をはじめとしたプロモーションや、販路開拓、販売店への商品説明のセミナーを開催した（4月1日現在：福山市内16店舗）。 ・商品やばらのまち福山との関連性について確認するモニター調査を実施した。 <p>○漁業体験モニターツアー事業（総事業費4百万円） 漁業体験ツーリズムを企画し、新たなビジネスモデルを確立させ、漁業者所得の向上と、漁村地域の活性化を図るもの。漁業協同組合、観光事業者、宿泊施設との連携にてモニターツアーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：9月～3月（計6回）、参加者：108人 	<p>【ばらのフレグランス】</p>

4 まとめ	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
今後の方針	地方創生に効果があった
	地方創生に対して効果がなかった
	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	特に見直しをせず事業を継続する
	継続的な事業実施を予定していたが中止した
	当初予定通り事業を終了した

2 成果と課題
<p>○ばらフレグランス開発事業 【成果】・新たな商品が完成した。 ・ばらのまちづくりをPRする手段が拡大した（女性等新たな層へのPR）。 ・モニターの実施により、商品の周知とともに、ばらのまち福山のPRができた。</p> <p>【課題】・一定の販路が確保できたが、広域的な販路拡大、継続的なプロモーション（商品認知）を行っていく必要がある。</p> <p>○漁業体験モニターツアー事業 【成果】・体験ツーリズム開催の体制を整備（関連団体との連携）することができ、ノウハウを得ることができた。 ・顧客が漁業体験ツーリズムに求めるニーズを把握することができた。 ・漁業体験が漁村地域の観光資源の一つとしてなり得る可能性があることを認識できた。</p> <p>【課題】・漁業体験時の参加者を楽しませる仕組みづくり（漁業者による海、漁法、魚等の説明など）を発展させていく必要がある。</p>

3 関連するKPI
<ul style="list-style-type: none"> ・備後圏域の総観光客数 2019年目標20,920千人以上 (2015年実績23,101千人) ・6次産業化による新商品開発(累計) 2019年度目標6件 (2016年度実績3件)

5 今後の取組
<p>○ばらのフレグランス開発事業【見直し・改善】 ・広域的な販路拡大、継続的なプロモーション（商品認知）を実施する。</p> <p>○漁業体験モニターツアー事業【見直し・改善】 ・漁業体験時の参加者を楽しませる仕組みや、観光客増加に向けた仕組みづくりを行う。</p>

6 委員意見(抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> ○県外の人にも「福山市＝ばら」というイメージが定着する施策が必要ではないか。 ○ばらのフレグランスの開発について、商品の販売とは別に、福山とバラとの関係やローズマインドの周知が目的であることを、関係者で共有する必要があるのではないか。



【デザイン知識を活かしたプロジェクションマッピング】

計画 2	デジタルコンテンツ及び工業デザインによる地域活性化・社会貢献支援事業	総事業費 (内交付金)	20百万円 (20百万円)
-----------------	---	------------------------	--------------------------

本市における情報通信分野を活性化させるとともに、本市の「ものづくりのまち」としての強みを生かしながら、市内企業の今後の更なる事業展開を図るため、市内の大学と連携したプロジェクト・講座等を実施する。

1 主な実施内容

○観光情報発信アプリケーション構築・就職支援サイト構築事業（総事業費20百万円）

・観光情報発信アプリ(びんGO！福山)
観光スポットの紹介やモデルコース紹介などの機能を有する多言語観光アプリケーションを製作した。アプリケーション開発事業者による学生(福山大学)への指導、講義などを行いながら開発し、ICTに関する実践的な知識や技能の育成・向上を図った。(企画開発など学生参加人数:約20人)
(ダウンロード数:3月798件, 4月536件)

・就職支援サイト(就活ふくやま)
福山市内企業の求人情報、企業情報及び市内大学(市内4大学)の学生による企業取材情報を閲覧できるホームページを作成し、福山市内企業の人材確保及び若年者の市内企業への就職促進を図った。(企業取材学生参加人数:約20人)
(アクセス数約8,400件(直近2ヶ月))

○工業デザイン向上事業（総事業費0円）

「ものづくりのまち」としての強みを生かしながら、市内企業の今後の更なる事業展開を図るため、市内の大学(福山大学)と連携したセミナー等を行った。
・学生向けセミナーの開催した。
・成果物(プロジェクションマッピング)の制作した。
(学生参加人数:約15人)



【観光アプリ「びんGO！福山」】



【福山市就職支援サイト「就活ふくやま」】

2 成果と課題

○観光情報発信アプリケーション構築・就職支援サイト構築事業

【成果】・学生がアプリ作成・企業取材等を通じて、地元企業や地域とのつながりを深める機会となった。
・福山市内企業の情報や魅力を学生に発信することができた。
・学生がICTに関する実践的な知識や技能を習得できた。
【課題】・アプリ開発は終了したため、他の事業を通じて、地元定着・地域密着に向けた取組を継続する必要がある。
・ホームページの認知度が低く、より一層周知を図る必要がある。

○工業デザイン向上事業

【成果】・成果物の制作において工業デザインに対する認識が深まった。

3 関連するKPI

・大卒者の地元就職率
2019年度目標40.0%
(2015年度実績34.0%)
・女性創業者数
2019年度目標10人
(2016年度実績16人)

4 まとめ

事業効果	○	地方創生に非常に効果的であった
	○	地方創生に相当程度効果があった
		地方創生に効果があった
今後の方針		地方創生に対して効果がなかった
	○	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○	事業内容の見直し(改善)を行う(または行なった)
		特に見直しをせず事業を継続する
		継続的な事業実施を予定していたが中止した
		当初予定通り事業を終了した

5 今後の取組

○観光情報発信アプリケーション構築事業【見直し・改善】
・より多くの観光客に本アプリを利用してもらうための情報発信と掲載情報の充実を図る。
○就職支援サイト構築事業【見直し・改善】
・新たな情報を追加するため、学生取材等の内容の充実を図る。

6 委員意見(抜粋)

○特に、観光情報発信アプリケーションでは、学生の学ぶ機会となり、参加学生の満足度・達成感が高かった。
○観光情報発信アプリケーションや就職支援サイトに関し、旅行会社や金融機関との連携ができるのではないかと。



【備後圏域の紹介冊子とWebサイト】

計画 3	備後の魅力まるごとプロモーション	総事業費 (内交付金)	10百万円 (10百万円)
-----------------	-------------------------	------------------------	--------------------------

「備後」の知名度は低く、「備後」を紹介するコンテンツが不足している。首都圏・関西圏などの大都市圏在住者をターゲットとした備後圏域を紹介する冊子・映像の制作を行う。また、圏域外に進学した備後圏域出身の学生等に対して、地元企業の魅力等の紹介を効果的に行うことにより、備後圏域への「ひと」の新しい流れをつくる。

1 主な実施内容

○備後圏域紹介コンテンツ製作・魅力発信事業（総事業費9百万円）

- ・備後圏域6市2町から圏域外の大学等に進学した学生を対象に、備後圏域の暮らしやすさを発信し、Uターン就職等を促進する紹介誌「びんごライフMAGAZINE」を作成した。
- ・首都圏・関西圏の大学(117か所)、圏域外の短大・専門学校(20か所)、移住相談関係施設(3か所)等に配布した。
- ・紹介誌と連動したWebサイト「びんごライフ 備後圏域の魅力再発見サイト」を開設した(2017年3月)。
(WEBサイトアクセス数:2,420件(4月累計))



【企業と学生の交流会「企業研究Lab」】

○地元の魅力発信事業（総事業費1百万円）

- ・備後圏域からの進学者が多い地域の大学生を主なターゲットとして、備後圏域の企業との交流会を開催した。
開催日:2017年2月10日
開催場所:大阪市北区梅田
参加者:36人
参加企業数:32社

2 成果と課題

○備後圏域紹介コンテンツ製作・魅力発信事業

- 【成果】・首都圏及び関西圏の大学に備後圏域の暮らしやすさを発信する紹介誌を設置することができ、情報発信手段が広がった。
- ・紹介誌を拡散することでWebサイトへ誘導する流れができた。
- 【課題】・Webサイトへ誘導するための仕組みの更なる強化が必要である。
- ・Webサイトを回遊してもらえよう、掲載内容を充実していく必要がある。

○地元の魅力発信事業

- 【成果】・圏域からの進学者が多い関西圏の大学生との交流が実施でき、地元の企業の魅力が伝えられた。
- ・地元企業の人材確保ニーズに応える新たな取組となった。
- ・学生からは次のような意見が寄せられ、好評であった。
名前も知らない企業が多く、関心や興味が大きくなった。
様々な業種の会社の話が聞けてよい機会だった。
電子機器は理系というイメージがあったので文系でも活躍できると知り驚いた。
- 【課題】・継続した実施により、学生への企業周知、Uターンの増加に繋げる必要がある。

3 関連するKPI

- ・備後圏域の総観光客数
2019年目標20,920千人以上
(2015年実績23,101千人)
- ・備後圏域の人口社会動態
2019年目標人口社会動態士0

4 まとめ

事業効果	○	地方創生に非常に効果的であった
	○	地方創生に相当程度効果があった
今後の方針	○	地方創生に対して効果がなかった
	○	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○	事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○	特に見直しをせず事業を継続する
	○	継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○	当初予定通り事業を終了した

5 今後の取組

- 備後圏域紹介コンテンツ製作・魅力発信事業【発展】
・Uターン就職説明会等で参加者へ配布する等、紹介誌を効果的に拡散させ、サイトへ誘導する。
- ・Webサイトの内容を充実させ、サイト内での回遊性を高める。
- ・就職活動を行う学生に向けてSNS等で発信する。
- 地元の魅力発信事業【発展】
・圏域からの進学者が多い関西圏を主なターゲットとし、大学生が参加しやすい時期に交流会を開催する。
- ・関西圏の大学との関係をさらに深め、大学生の応募増につなげる。

6 委員意見(抜粋)

- 交流会については継続すればよいが、人数が増えるよう期待したい。
- Uターン者数(または見込み)はわかるのか。



【びんご圏域グローバル人材育成(海外研修)】

計画 4	だれもが挑戦できるまちづくり	総事業費 (内交付金)	79百万円 (25百万円)
-----------------	-----------------------	------------------------	--------------------------

中小企業を支援するビジネスコンサルティング施設を開設し、企業、行政、金融機関、各種研究を行う大学等が連携して人材確保、製品の高付加価値化、新商品開発、販路開拓、創業等といった観点から支援を行う。また、地域経済の活性化と実践的な技術を身につけた即戦力となる人材の育成に取り組み、福山市の更なる発展を担う人材を育成する。

1 主な実施内容	
<p>○産業支援拠点運営(福山ビジネスサポートセンター-Fuku-Biz)(総事業費42百万円) ビジネスセンスに優れ熱意のある専門家によるビジネスコンサルを通じ、売上向上・創業支援に重点をおいた経営相談を行い、圏域事業者の「稼ぐ力」の向上に取り組んだ(2016年12月～2017年3月の相談件数:367件)。</p> <p>○新規出店支援事業(総事業費4百万円) 若者や創業者などが商店街の空き店舗に出店する際に、店舗改造費・店舗賃借料の補助を行った。</p> <p>○びんご圏域グローバル人材育成事業(総事業費5百万円) 尾道市立大学、福山大学、福山平成大学、福山市立大学が連携し、国際ビジネスで活躍できる人材を圏域内へ供給することを目的に、グローバル人材育成に向けた講座の開設および海外研修事業を実施した(受講者数:48人、海外研修者数:19人)。</p> <p>○ものづくり人材育成事業(総事業費4百万円) ものづくり人材の育成を支援するため、行政、産業支援機関、大学等と連携し、ものづくりに関する研修、講演会、イベントの体系的かつ一体的な情報発信を行った。また、上記の内容等を発信する「びんご産業支援サイト」を運営した。 ・ものづくり大学では、最先端(IoTなどの先端技術や考え)、学びなおし(福山職業能力開発短期大学校と連携した現場技術の実技講座)、啓発・PR(子どもたちにもものづくりの楽しさを伝える)という3本の柱で、全41のセミナーや講座等を実施した。 ・びんご産業支援サイトでは、大学等32機関と連携して、それぞれの機関にてセミナー情報を入力する体制を構築した。</p>	

4 まとめ	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果がなかった
今後の方針	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○ 特に見直しをせず事業を継続する
	○ 継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○ 当初予定通り事業を終了した

2 成果と課題
<p>○産業支援拠点運営(Fuku-Biz) 【成果】・満足度の高い産業支援拠点を開設することで、売上向上・創業支援に重点を置いた支援に繋がった。 (相談者の99%が「とても良かった」または「良かった」と回答し、94%の方が「知人に勧めたい」と回答(アンケート実施時期:2017年1月)) 【課題】・予約待ちの状況の改善</p> <p>○新規出店支援事業 【成果】・飲食店2件、パン屋1件の出店に繋がった(うち若者(39歳以下)の出店は2件)。 【課題】・制度利用者のフォローアップ、開業希望者と空き店舗のマッチングを行う。</p> <p>○びんご圏域グローバル人材育成事業 【成果】・地元の産学官連携により、グローバル人材を育成する体制を構築できた。 【課題】・社会人も含めた受講者数を更に増加させる必要がある。</p> <p>○ものづくり人材育成事業 【成果】・大学等との連携により、満足度の高いセミナーや講座を実施できた。 (98%が「良い実習であった」と回答) ・産業支援サイトでは、大学や商工会議所等32機関と連携を構築し、情報の一元的発信につながっている。 【課題】・新たなセミナー等の充実に向けた連携先を増やす。 産業支援サイトでは、セミナー情報の入力活性化させる。</p>

3 関連するKPI
<p>・Fuku-Bizでの相談対応による事業者の売上増加割合 2018年度目標60%</p> <p>・大卒者の地元就職率 2019年度目標40.0% (2015年度実績34.0%)</p> <p>・若者(20～39歳)の福山市への転入超過 2018年目標±0人 (2016年実績±188人)</p>

5 今後の取組
<p>○産業支援拠点運営【発展】 ・相談人員等の増強を検討する。</p> <p>○新規出店支援事業【見直し・改善】 ・より新規出店に繋がる事業となるよう他都市事例等の調査等を行う。</p> <p>○びんご圏域グローバル人材育成事業【継続】 ・受講者数の増加に向けたPRを行う。</p> <p>○ものづくり人材育成事業【発展】 ・セミナー等の充実のため、連携先を増加させる。</p>

6 委員意見(抜粋)
<p>○Fuku-Bizは、相談件数が伸び、相談者の満足度の高い点が評価できる。 ○Fuku-Bizの成果について、売上が向上した件数等、具体的な内容・数字を挙げられないか。</p>

計画
5

地域資源を活用したまちの魅力・活力創出事業

総事業費
(内交付金)

43百万円
(21百万円)



【デニメーション】

本市及び備後圏域の地域資源の魅力を高めるとともに、情報発信を強化することで、様々な産業や取組を更に発展させ、本市及び備後圏域全体の活力へと繋げていく。

1 主な実施内容

○都市ブランド戦略推進事業（総事業費18百万円）

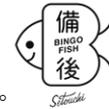
- 専門家による地域資源の発掘及び磨き上げ、講演会・研修会の開催等を通じた新たな魅力の創出、積極的な情報発信や販路拡大に取り組んだ。
- 講演会やワークショップを通じて新たな産品・サービスを開発した
- 「ばらのまち福山応援寄附金」の記念品へ採用した。
- 首都圏等での展示会へ出展した。



【都市ブランド(展示会)】

○水産物ブランド化推進事業（総事業費7百万円）

- 備後圏域で水揚げされた水産物のブランド化を推進することにより、地魚の地産地消の推進や漁業者の所得向上を図る取組を行った。
- 備後圏域で水揚げされた水産物から、ブランド化を図る水産物25種類を選定し、ロゴマーク、キャッチコピーを決定した。
- 行政4市、関係漁業団体4団体、道の駅等4施設で推進団体を設立した。
- PR活動を行った(備後フィッシュフェス(来場者数約3,000人)、備後フィッシュ料理教室計10回の開催)。



備後の漁師
1000人が選ぶ
魚たち。

【水産物ブランド化】

○デニムプロジェクト（総事業費5百万円）

- 「備後圏域はデニムの産地」ということを広くPRすることで、備後圏域及びデニム関連事業者の知名度向上やデニムの認知を通じた圏域住民の地元への愛着の醸成、また事業者の売上増加や人材確保促進へと繋げる取組を行った。
- デニム生地を活用したアニメーション(デニメーション)を制作した。

2 成果と課題

○都市ブランド戦略推進事業

- 【成果】・第3回福山ブランド認定品・登録活動に53件の応募があった。
- ・クリエイター100人とデニムの素材・技術をマッチングさせ、地場産業の新たな展開につながった。

【課題】・地域資源の磨き上げと福山ブランドの認知度向上のための市民参画

○水産物ブランド化推進事業

- 【成果】・県境、市境を越えた行政、漁業関係者が連携し、地魚のブランド化を推進する組織を立ち上げることができた。
- 【課題】・ブランド化の推進を更に効果的・広域的に進めるため、推進団体の拡充が必要である。

○デニムプロジェクト

- 【成果】・各種メディアへの掲載で目標を超える62件の掲載に至り、認知向上につながった。
- 【課題】・一過性の話題とならないよう、継続的な情報発信が必要である。

3 関連するKPI

- ・福山市における製造品出荷額等
2019年目標20,000億円
(2014年実績20,509億円)
- ・福山市における総観光客数
2019年目標7,100千人
(2015年実績7,269千人)
- ・道の駅等への来場者数
2019年目標227千人
(2016年実績255千人)

4 まとめ

事業効果	○	地方創生に非常に効果的であった
	○	地方創生に相当程度効果があった
		地方創生に効果があった
今後の方針		地方創生に対して効果がなかった
		事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○	事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
		特に見直しをせず事業を継続する
		継続的な事業実施を予定していたが中止した
		当初予定通り事業を終了した

5 今後の取組

- 都市ブランド戦略推進事業【見直し・改善】
 - ・地域資源の磨き上げ、福山ブランドの更なる認知度向上に向けて、多くの市民を巻き込む活動へ展開する。
- 水産物ブランド化推進事業【見直し・改善】
 - ・ブランド化の推進を効果的・広域的に進めるため、推進団体を拡充する(飲食店等)。
- デニムプロジェクト【発展】
 - ・デニムプロジェクトに関するホームページを製作するなど、情報発信の強化に取り組む。

6 委員意見(抜粋)

- 水産物やデニムなど、他都市でも行っているものについては、明確な差別化が必要である。
- 倉敷でもデニムをPRしており、連携について検討することはできないか。



計画 6	女性キャリアデザイン支援事業	総事業費 (内交付金)	12百万円 (6百万円)
-----------------	-----------------------	------------------------	-------------------------

身近で輝いている女性たちを取り上げたインタビュー記事や実際に女性が働いている現場、市内の子育て施設、積極的に女性を採用している企業の紹介などの情報発信を強化するとともに、研修機会や就労機会の提供をする仕組みを構築する。

1 主な実施内容
<p>○女性キャリアデザイン支援事業（総事業費12百万円） 高校や大学などに通う女性を対象に、福山市をはじめ備後圏域の企業の情報や魅力を発信し、備後圏域で働く意識を醸成する。</p>

2 成果と課題
<p>○女性キャリアデザイン支援事業</p> <p>【成果】 ・就職関連情報の提供や各種セミナー・相談会を実施することを目的とした施設（LADY WORK CAFE）の開設（2017年5月22日） （会員登録者数45人、来場者数64人（5月末現在））</p>

3 関連するKPI
<ul style="list-style-type: none"> ・大卒者の地元就職率 2019年度目標40.0% (2015年度実績34.0%) ・若者(20~39歳)の福山市への転入超過 2018年目標±0人 (2016年実績△188人) ・女性創業者数 2019年度目標10人 (2016年度実績16人)

4 まとめ	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果があった
今後の方針	○ 地方創生に対して効果がなかった
	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行なった)
	○ 特に見直しをせず事業を継続する
	○ 継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○ 当初予定通り事業を終了した



【LADY WORK CAFE】

5 今後の取組

○イベントやセミナー等の開催、働く女性を応援する総合ポータルサイトの構築など、女性のキャリアデザインに向けた取組を行っていく。
 【参考: LADY WORK CAFE イベント(予定)】

- 6月18日 女子学生向け座談会(女性の働き方~結婚・子育て・仕事)
- 7月2日 無料英語カフェ
- 7月9日, 23日 コミュニケーションカアップグループディスカッションセミナー
- 7月23日 就職活動者向けのビジネスメイクレッスン&メイク講座



輝く女性応援サイト
【BINGO WOMAN】

※委員による(懇話会開催前)意見なし